

このまち
津市で輝く

津ぶっこ生産者を追いかける
～Vol.8 自然薯～

山から運んだ赤土で育まれる
自然の風味と粘りを届けたい



JA三重中央 一志じねんじょ部会 ^{むらかみ}村上 ^{つとむ}勉さん ^こあい子さん

古来から栄養価の高い高級食材として珍重されてきた自然薯は、本来山に自生するため栽培は困難とされてきた。「幼い頃に父が買ってきた自然薯のおいしさが忘れられなかった」と話す勉さんは、「当時の感動をたくさんの人に届けたい」と、会社を退職後、妻のあい子さんと自然薯栽培を始めた。こだわりは、自然に近い環境で育てるために山から運んできた赤土。むかごから種イモを育て、2年かけて収穫する「一志じねんじょ」は、自生しているものと変わらない強い粘りと風味が評判で、晩秋の味覚に欠かせない一志地域の特産品となっている。

「どんな風に育っているか、土から掘り起こすまで分からないのも楽しみの一つ。天候の影響を受けて思うように育たない時もある、掘り起こせないほど大きく成長することもあります。農業は、子育ての喜びに似ていますね。今年の出来？掘ってみてのお楽しみです！」



津ぶっことは…津市の農林水産業をもっと元気にするため、ブランド品目として推進している13品目の産品 ▶次回は「シイタケ」



広告掲載欄



明日は、きっと、できる。

「ミズノは津市産業・スポーツセンターの指定管理者として、津市民のスポーツの振興と健康増進に貢献します。」

ミズノ株式会社 mizuno.jp 「ミズノお客様相談センター」 ☎0120-320-799
〒559-8510 大阪市住之江区南港北1丁目12番35号 FAX.(06)6614-8463

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、裏表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。

広報つ！

毎月1日・16日発行

- 編集・発行
津市政策財務部広報課
〒514-8611
西丸之内23-1
☎059-229-3111
FAX 059-229-3339
- 印刷
寿印刷工業株式会社